

学校評価アンケートの結果から

大府中学校では、2学期に学校評価アンケートを実施しました。アンケート集計ができましたので、アンケート結果やご質問等から主だった項目についてお知らせします。なお、アンケート結果につきましては裏面を参照ください。

○楽しい学校・進んであいさつについて

・「学校が楽しい」「友達や先生に進んであいさつできる」を肯定的にとらえる割合が高いです。生徒の意見では、「一人一人があいさつをすることを常に心がけることが大切である。」「あいさつを交わすと人と人のつながりがうまれる。」「だれもが自然とあいさつができる学校にしていく。」といった前向きな意見が出されていました。生徒会のあいさつ運動の取組も大切にして、学校内にあいさつが広がるようにしていきたいと思えます。

○生徒理解について

・「先生は気軽に相談できる」「こどもは先生に気軽に相談できると感じている」の項目では、生徒は約70%、保護者は約60%の割合となっています。生徒は、友達に相談することが多いと思われそうですが、教師は生徒にとって身近な大人です。相談を受ける存在になれるよう、教師から進んで声かけをし、アンテナを高くして生徒の様子の変化に気づき、関わっていくことができるようにしたいと考えます。また日頃から、生徒が相談しやすい環境づくり、相談体制を整えていきます。

○間違った行動に対する指導について

・生徒・保護者・教師ともに約80%を超しており、肯定的にとらえている項目です。今後も全職員が、共通認識で指導にあたる必要があります。

○社会のルールやマナーを守る態度について

・生徒・保護者ともに約97%の高い割合で意識ができています。生徒指導担当からは、生徒集会時や式後の話の中で、自分が行動を起こす前に、善悪の判断をもって行動できることの大切さについて話をしています。その他に、交通マナーについては、地域の方から、登下校時の自転車の乗り方や歩道のあり方についてご指摘をいただいています。今年度も、自転車による接触事故、道幅から広がる自転車の走行、歩道のご指摘がありました。生徒が周りの方のことを考えて行動できるよう、今後も継続して指導にあたります。家庭・学校・地域が協力して交通安全に取り組んでいきたいと思えます。

○学校行事への積極的な参加について

・昨年度と同等で86%の数値となっています。行事の入念な計画、各学年・学級での支援により、生徒が行事に能動的に参加できていると考えます。今後も生徒に有意義な行事になるよう、立案していきます。また、講師の方が参加される行事では打ち合わせを綿密に行い、内容を充実させて、生徒の参加意欲を高めていきます。

○各種たよりについて

・学校だよりや学年だより等を通して、生徒の学校生活の様子を写真や文章で伝えられるよう努めています。生徒の感じていることや行事での様子を今後もお伝えするたよりに務めます。

○学校評議員より、ご意見をいただきましたのでお知らせします。

- ・学校は楽しいと感じる生徒が多いのはとてもよいことです。将来の希望や夢がもてるようになってほしいと思えます。
- ・生徒の個性が発揮できるように、学校教育の場で育ていけるとよいと思えます。
- ・ボランティア活動に取り組むことで、リーダーシップが備わっていくと考える。今後も学校外で、貴重な体験をさせ成長して行ってほしいと思えます。
- ・交通マナーについてはもっと大人が手本を見せていかなければならないと思えます。

